

令和4年度入学者選抜
**日本語指導が必要な帰国生徒等に係る
入学者選抜について**

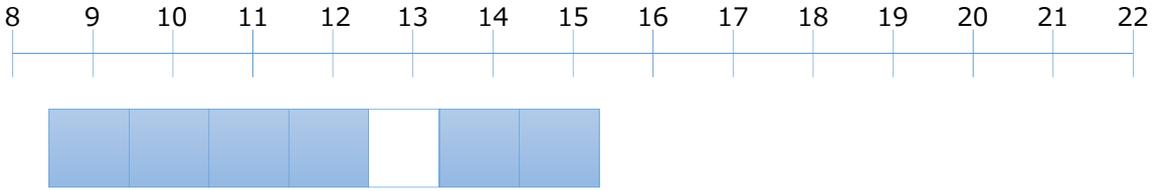
大阪府教育庁教育振興室
高等学校課学事グループ

このビデオでは、令和4年度の大阪府における日本語指導が必要な生徒の高校入試について説明します。

高校の種類

さて、高校入試の話をする前に、高校の種類から、お話いたします。小学校や中学校は、毎日学校に通い、朝から夕方まで勉強しますが、高校は、学ぶ時間や学び方によっていくつかの種類に分かれます。

高校の種類 全日制の課程



- 中学校と同じように昼間の時間帯に授業を行う学校です。
- それぞれに特色ある学科やコースを設置しています。

普通科
農業に関する学科
工業に関する学科
商業に関する学科
グローバルビジネス科
食物文化科
福祉ボランティア科
理数科

総合科学科
サイエンス創造科
総合造形科
美術科
音楽科
体育に関する学科
英語科
国際文化科

グローバル科
グローバル探究科
演劇科
芸能文化科
文理学科
教育文理学科
総合学科
総合学科（エンパワメントスクール）

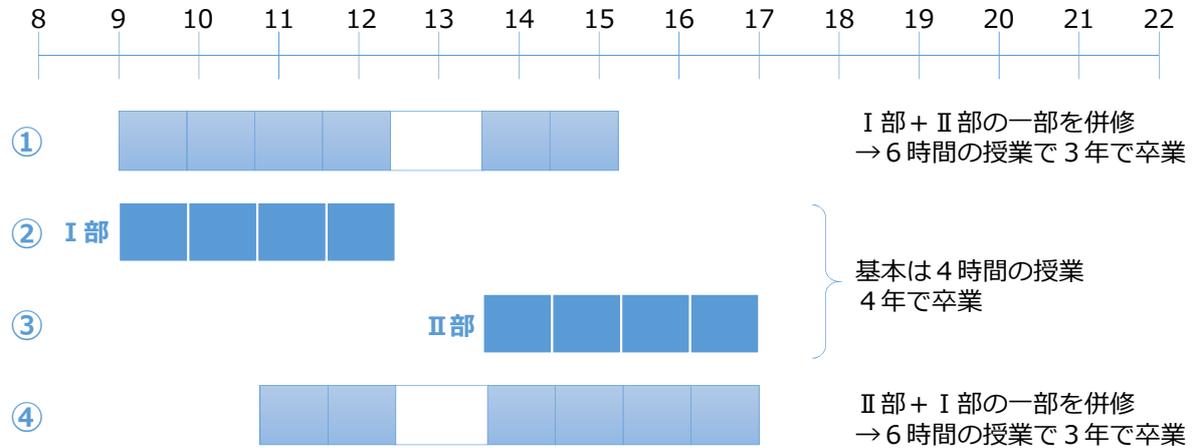
3



1つめは、全日制の課程です。

この画面の上には時間帯を示しています。全日制の課程は、例えば、8時半から授業を始めて、午後3時過ぎに終わるといったように、中学校と同じような昼間の時間帯に授業を行い3年間で卒業する学校です。大阪府の公立高校は、ここに
あるように、特色のある学科やコースを設置しています。

高校の種類 多部制単位制 I 部・II 部



- I 部（午前 4 時間）、II 部（午後 4 時間）の中から入試の時に学ぶ時間帯を選び、4 年で卒業します。
- もうひとつの部とあわせることで 3 年で卒業することもできます。
- 大阪府では、[大阪府立大阪わかば高等学校](#)に設置しています。

4

2つめは、多部制単位制 I 部 II 部です。この課程は、一日 4 時間の授業を行い、4 年間で卒業するのが基本です。

時間を①から④の 4 つの帯で示しました。②の帯、9 時から始まる 4 時間の授業、これを I 部といいます。③の帯、13 時半から始まる 4 時間の授業、これを II 部といいます。高校入試を受けるときには、この I 部か II 部かを選んで受験します。

一番上①を見てください。これは、I 部の 4 時間と II 部の前半 2 時間を組み合わせて 6 時間にしています。また、一番下④は、II 部の 4 時間に I 部の 2 時間を組み合わせて 6 時間にしています。このように、I 部と II 部とをあわせることで、先ほどの全日制と同じ 6 時間にすることができ、3 年で卒業することができます。大阪府では、[大阪府立大阪わかば高校](#)に設置しています。

高校の種類 定時制の課程



- 夜間に4時間の授業を行い、4年で卒業します。
- 普通科、工業に関する学科、商業に関する学科、総合学科を設置しています。
- 大阪府では、19校設置しています。

府立大手前高等学校
府立桃谷高等学校
府立桜塚高等学校
府立春日丘高等学校
府立寝屋川高等学校
府立布施高等学校
府立三国丘高等学校

府立都島工業高等学校
府立西野田工科高等学校
府立今宮工科高等学校
府立工芸高等学校
府立茨木工科高等学校
府立藤井寺工科高等学校
府立堺工科高等学校

府立佐野工科高等学校
府立成城高等学校
府立和泉総合高等学校
堺市立堺高等学校
岸和田市立産業高等学校

5



3つめは、定時制の課程です。時間を見てください。例として、6時から4時間の授業としています。このように、定時制の課程では、1日に4時間の授業を行い、4年で卒業します。ここには書いていませんが、この後説明する通信制の課程と組み合わせて3年で卒業することもできます。大阪府には19校あります。

高校の種類 昼夜間単位制



- 合格後に昼間と夜間のどちらを中心として学ぶかを選びます。
- 1限（10:50開始）～10限（21:05終了）の中から、自分の希望する時間帯で学習できます。
- 大阪府では、**大阪府立中央高等学校**に設置しています。
- 普通科とビジネス科を設置しています。

6



4つめは、昼夜間単位制です。時間帯を見てください。10時50分から夜の9時5分の10時間の授業のうち、自分の希望する時間帯で勉強します。合格後に、昼間中心で勉強するか、夜中心で勉強するかを選ぶことができます。大阪府では、大阪府立中央高校に設置しています。

高校の種類 通信制の課程

- 仕事やその他の事情で、毎日通学することができない人のために設置されています。
- 教科書や学習書をもとに自分で勉強してレポートを作成し、郵送などで提出します。
- 週に2～3回登校してスクーリング（面接指導）を受けて勉強します。
- 大阪府では、**大阪府立桃谷高等学校**に設置されています。
- 仕事の都合などに合わせて学べるよう、「**昼間部**」と「**日・夜間部**」の二部を設けています。

昼間部

	曜	日	月	火	水	木	金	土
午前								
午後		○		○		○		
夜間								

日・夜間部

	曜	日	月	火	水	木	金	土
午前	○							
午後	○							
夜間		○					○	

7



5つめは、通信制の課程です。仕事やその他の事情で、毎日通学することができない人のために設置されています。通信制の課程は、毎日学校には行きません。教科書や学習書をもとに自分で勉強してレポートを作成し、郵送などで提出します。週に2～3回登校してスクーリング（面接指導）を受けて勉強します。大阪府では、大阪府立桃谷高等学校に設置されています。仕事の都合などに合わせて学べるよう、「**昼間部**」と「**日・夜間部**」の二部を設けています。

下の表を見てください。昼間部では、月・水・金曜の午後に面接指導があります。日・夜間部では日曜の午前午後、月・金曜の夜間に面接指導があります。この時間帯に、自分が選択した授業について決められた回数の授業を受けに行くことになります。

エンパワメントスクール

「わかる授業」「意見を出し合う授業」などを通して、生徒の持っている力を最大限に引き出し、社会で活躍するための力を育む。

エンパワメントスクールの主な特徴

- 1学年6学級35人
- 義務教育段階からの「学び直し」のカリキュラムを設定
- 1年次の国数英は毎日各30分のモジュール授業
- 「エンパワメントタイム」では、社会人基礎力を身に付けるために、「正解が1つでない問題」について考える授業を実施
- 入学選抜では、募集定員の最大50%を面接や自己申告書などを資料として、生徒の意欲を積極的に評価

1年次の 時間割イメージ

時限		月	火	水	木	金	
0	10分	朝の10分					
A	30分	(学)国語					
B	30分	(学)数学					
C	30分	コミュニケーション英語 I					
3	50分	体育	家庭基礎	体育	(学)社会入門	体育	
4	50分	(学)社会入門	家庭基礎	(学)理科入門	保健	(学)理科入門	
5	50分	社会と情報	(学)社会入門	芸術 I	エンパワ総合	エンパワ産社	
6	50分	社会と情報	エンパワ総合	芸術 I	LHR	エンパワ産社	

エンパワメントスクールの配置 ※()内は開校年度



次に、エンパワメントスクールについて説明します。

府立高校には、全日制の課程の総合学科のうち、エンパワメントスクールと呼ばれる学校が8校あります。この学校は、通常、1クラス40人のところを、1クラス35人と少なくして、中学校などの義務教育段階からの「学び直し」のカリキュラムを設定しています。

時間割の例を見てください。

月曜から金曜までABCの時間として毎日30分ずつ、国語、数学、英語の授業があります。この授業はモジュール授業といい、毎日継続して学習することにより、効率的に学力向上を図ります。この国数英の3教科の授業は、3学年を通じて、習熟度別・進路希望別で行います。

次に、黄色の時間「エンパワメントタイム」では「社会で活躍するために必要な力」を身につけていくため、「自尊心を高める」「コミュニケーション力をつける」「キャリア意識を身につける」「正解が一つでない課題に取り組む」ことをテーマにした学習を3年間を通じて行います。

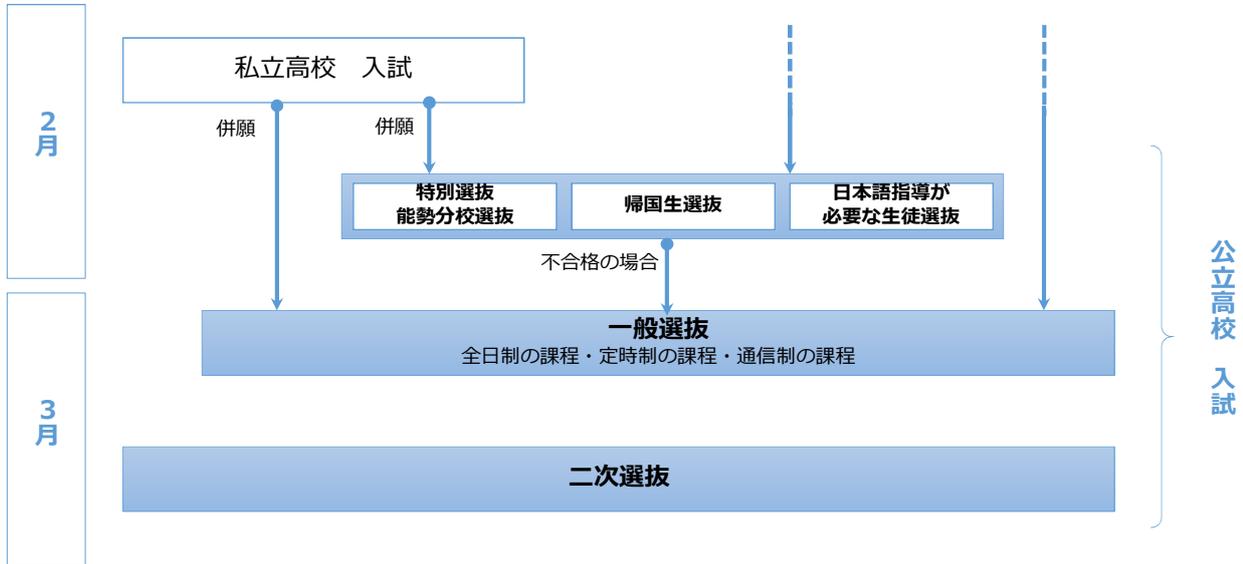
このような取り組みにより、「つまずいたところを学び直す」授業、「勉強って面白い」を体感する授業を行っています。さらに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、キャリア教育コーディネーターなどのプロフェッショナルを配置し、生徒一人ひとりの安全・安心を第一に、生徒が相談しやすい環境と体制を整備しています。

エンパワメントスクール8校は、右側の地図に示しています。

高校入試のスケジュール

では、本日のテーマである高校入試について話をします。初めにスケジュールです。

高校入試のスケジュール



10

大阪府では、2月に、私立高校の入試があり、そのあとに公立高校の入試を行います。春に実施する選抜の種類は、大きく2月に行う選抜と、3月に行う選抜に分かれています。

2月に行う選抜は、学力検査、つまり、数学や英語などの教科のテストに加えて、実技検査や面接を実施する特別選抜、外国からの帰国生を対象とした帰国生選抜、日本語指導が必要な生徒を対象とした選抜といった、特別な入試を行います。3月には、メインの一般選抜を行います。一般選抜は、学力検査、つまり教科のテストを行います。

私立高校だけ、または、公立高校だけを受ける場合と、私立高校と公立高校の両方を受ける場合があります。また、2月の入試を受けて、不合格の場合には3月の一般選抜を受けることもあります。

もし、3月の一般選抜が終わった時点で、どこにも合格が決まっていない場合には、3月の終わりに二次選抜を受験することができます。二次選抜は面接だけを行います。

公立高校入試のスケジュール（令和4年度選抜）

選抜の種類	学力検査等日程
特別入学者選抜 （特別選抜）	令和4年 2月17日、18日
大阪府立豊中高等学校能勢分校に係る入学者選抜 （能勢分校選抜）	
海外から帰国した生徒の入学者選抜 （帰国生選抜）	
日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜 （日本語指導が必要な生徒選抜）	
一般入学者選抜 （一般選抜）	令和4年 3月9日
二次入学者選抜 （二次選抜）	令和4年 3月23日
秋季入学者選抜 （秋季選抜）	令和4年 9月9日

この画面には、令和4年度、次の春に行う入試の日程を示しています。
一番下の行には一部の学校で行う秋の入試の日程も載せています。
本日は、春に行う入試のうち、上から5つ、1の特別選抜から5の一般選抜まで
について順にお話いたします。

日本語指導が必要な帰国生徒等に係る 入学者選抜の制度について

12

また、日本語指導が必要な生徒が入試を受けるときに、どんな配慮があるのか、という制度について説明をします。

日本語指導が必要な帰国生徒等に係る入学者選抜の制度について

1 | 選抜の種類と配慮について

2 | 「配慮」の内容

3 | 出願にあたって



まずは、選抜の種類と配慮についてです。

1 | 選抜の種類と配慮について

特別選抜・能勢分校選抜

実施
**国語・数学・英語
 理科・社会
 + 面接 or 実技検査**

学校により問題の種類が異なる

+ 申請・承認

- 配慮**
- 時間延長（約1.3倍）
 - 漢字にひらがなのルビ
 - 辞書の持込み
 - 作文の題意を理解するための外国語のキーワード
 - 自己申告書の代筆又は日本語以外の使用

配慮内容は個人により異なる

特別選抜

課程・学科等		学力検査	学力検査以外
全日制の課程	専門学科（一部）	国数英※理社 ※リスニングを含む	実技検査
	総合学科 (エンバフメントスクール)		面接
多部制 単位制	I II部 普通科		
昼夜間 単位制	普通科 ビジネス科		

能勢分校選抜

豊中高校能勢分校において実施
 学力検査（国数英※理社）+面接により実施 ※リスニングを含む

まず、2月に行う特別選抜と能勢分校選抜です。

この選抜では、学力検査は5教科を実施し、加えて、面接または実技検査を行います。

公立高校の学力検査問題は、国数英の3教科については、A B Cの3種類あり、A 基礎的問題、B 標準的問題、C 発展的問題と難易度が分かれています。特別選抜においては、学校により3教科それぞれについて、A問題またはB問題の2種類から選択しています。

基本的には、同じ学校を受ける生徒は同じ問題で受験しますが、日本語指導が必要な生徒で、配慮事項を承認された生徒は、画面の左下にお示ししている時間延長等の配慮を受けて学力検査を受験することができます。配慮の内容は後ほど、詳しく見ていきます。

実施校は、右側にお示しをしている課程、学科等が対象です。

1 | 特別選抜実施校

全日制の課程 専門学科

学科名等		学校名
工業に関する学科	建築デザイン科 インテリアデザイン科 ビジュアルデザイン科 映像デザイン科 プロダクトデザイン科	工芸
	デザインシステム科	岸和田市立産業
総合造形科		港南造形
美術科		工芸
音楽科		夕陽丘
体育に関する学科		桜宮、汎愛、摂津、大塚
グローバル探究科		水都国際
演劇科		咲くやこの花
芸能文化科		東住吉

全日制の課程総合学科（エンパワメントスクール）

学科名	学校名
総合学科 (エンパワメントスクール)	淀川清流、成城、西成、 長吉、箕面東、布施北、 和泉総合、岬

多部制単位制 I 部及び II 部並びに昼夜間単位制

課程等	学科名等	学校名
多部制単位制	I 部 II 部 普通科	大阪わかば
昼夜間単位制	普通科 ビジネス科	中央

15



この画面には、特別選抜の実施校をそれぞれ学科別に示しています。

1 | 選抜の種類と配慮について

一般選抜

実施

国語・数学・英語
理科・社会

(定時制の課程は国語・数学・英語)

学校により問題の種類が異なる

+ 申請・承認

- 時間延長 (約1.3倍)
- 漢字にひらがなのルビ
- 辞書の持込み
- 作文の題意を理解するための外国語のキーワード
- 自己申告書の代筆又は日本語以外の使用

配慮

配慮内容は個人により異なる

	課程・学科等	学力検査	学力検査以外
全日制の課程	全ての学科 特別選抜を行う学科を除く。	国数英※理社 ※リスニングを含む	—
定時制の課程	全ての学科 昼夜間単位制を除く。	国数英※ ※リスニングを含む	—
通信制の課程	普通科	—	面接

16



続いて、3月に行う一般選抜です。

この選抜において、学力検査は、全日制の課程は5教科、定時制の課程では3教科を実施します。

国語、数学、英語の3教科の学力検査は、学校によりA、B、C問題のいずれかを選択しています。

基本的には、同じ学校を受ける生徒は同じ問題で受験しますが、日本語指導が必要な生徒で、配慮事項が承認された生徒は、画面左下にお示ししている配慮を受けて学力検査を受験することができます。

実施校は、右側の表に示している課程、学科が対象です。

1 | 選抜の種類と配慮について

帰国生選抜

実施

数学・英語・面接

B問題 B問題
(面接は日本語による)

- 辞書の持込み (和訳辞書 1冊)
- 調査書は不要

+ 申請・承認

- ・ 時間延長 (約1.3倍)
- ・ 漢字にひらがなのルビ
- ・ 辞書の持込み
- ・ 自己申告書の代筆又は日本語以外の使用

配慮

配慮内容は個人により異なる

出願資格の審査が必要

原則として、外国において継続して2年以上在留し、帰国後2年以内の者

	課程・学科等	学校名
全日制 の課程	総合科学科	住吉、千里、泉北
	英語科	東、いちりつ、東大阪市立日新
	国際文化科	旭、枚方、花園、長野、佐野、住吉、千里、泉北
	グローバル科	箕面、和泉
	グローバル探究科	水都国際

17

続いて、2月に行う帰国生選抜です。

この選抜は、出願要件である「原則として、外国において継続して2年以上在留し、帰国後2年以内」を満たす生徒が出願することができます。出願資格の確認は出願時に志願先高校において行います。

この選抜では、数学、英語、面接を実施します。検査問題は、数学、英語いずれもB問題とし、面接は日本語による面接を実施します。また、調査書の提出は不要です。

この選抜では、配慮申請することなく、和訳辞書の持込みを1冊可能としています。さらに配慮が必要な場合には、一般選抜等と同様に配慮申請をしていただくことで、画面左下に示す配慮を受けて学力検査を受験することができます。実施校は、右側にお示しをしている課程、学科が対象です。

1 | 選抜の種類と配慮について

日本語指導が必要な生徒選抜

実施

数学・英語・作文

B問題 B問題
(作文は日本語以外の使用も可)

- 時間延長 (約1.3倍)
- 漢字にひらがなのルビ
- 辞書の持込み (2冊)
- 作文の題意を理解するための外国語のキーワード
- 調査書・自己申告書は不要

実施校8校で問題の種類は同じ

府教育庁へ出願資格の申請・承認が必要

原則として、中国等から帰国した者又は外国籍を有する者で、**小学校第4学年以上の学年に初めて編入学した者**

	課程・学科等	学校名
全日制の課程	普通科	東淀川
	総合学科	福井、門真なみはや、八尾北、成美
	総合学科 (エンパワメントスクール)	長吉、布施北
多部制単位制 I II部	普通科	大阪わかば

18

次は、2月に行う日本語指導が必要な生徒選抜です。

この選抜の出願要件は「原則として、中国等から帰国した者又は外国籍を有する者で、小学校第4学年以上の学年に初めて編入学した者その他特別の事情があり府教育委員会が本選抜に志願することが適当であると認めた者」で、府教育庁に申請し、承認された者が出願することができます。

この選抜では、数学、英語、作文を実施します。検査問題は、数学、英語いずれもB問題とし、作文は事前に申請した日本語以外の使用も可能としています。調査書、自己申告書の提出は不要です。

この選抜では、一般選抜等他の選抜では別途申請いただく配慮内容を含んで実施しますので、出願資格の申請は必要ですが、配慮申請は不要です。

実施校は、右側の表にお示しをしている課程・学科等が対象です。

令和4年度より、大阪わかば高校が実施校となりました。

日本語指導が必要な帰国生徒等に係る入学者選抜の制度について

- 1 | 選抜の種類と配慮について
- 2 | 「配慮」の内容**
- 3 | 出願にあたって

19



続いて、特別選抜や一般選抜等、入学者選抜において別途申請いただく、日本語指導が必要な帰国生徒等に対する配慮の内容を個別にみていきます。

2 | 「配慮」の内容 配慮要項

- 1 学力検査時間の延長（約1.3倍）
- 2 辞書の持込み
- 3 学力検査問題へのルビ打ち
- 4 キーワードの外国語併記
- 5 自己申告書の代筆又は日本語以外の使用

要件

「原則として、中国等から帰国した者又は外国籍を有する者で、**小学校第1学年以上の学年に初めて編入学した者**その他特別な事情がある者」で日本語指導が必要な帰国生徒等



配慮の内容は、スライドにお示しをする5点です。

この配慮事項は、要件として、「原則として、中国等から帰国した者又は外国籍を有する者で、小学校第1学年以上の学年に初めて編入学した者その他特別な事情がある者」で日本語指導が必要な帰国生徒等」としております。

2 | 「配慮」の内容 配慮要項

1 学力検査時間の延長（約1.3倍）

要件

「原則として、中国等から帰国した者又は外国籍を有する者で、**小学校第1学年以上の学年に初めて編入学した者**その他特別な事情がある者」で日本語指導が必要な帰国生徒等

内容

各検査教科等に規定した学力検査時間の約1.3倍

2 辞書の持込み

3 学力検査問題へのルビ打ち

4 キーワードの外国語併記

5 自己申告書の代筆又は日本語以外の使用



1 つめは、学力検査時間の延長（約1.3倍）です。

日本語指導が必要な帰国生徒等に対する配慮が認められた場合、学力検査時間は各検査教科等に規定した時間の約1.3倍となります。

2 | 「配慮」の内容 配慮要項

1 学力検査時間の延長（約1.3倍）

要件

1 が認められた日本語指導が必要な帰国生徒等で、
2、3、4を必要とする者

2 辞書の持込み

3 学力検査問題へのルビ打ち

4 キーワードの外国語併記

5 自己申告書の代筆又は日本語以外の使用



2つめから4つめは、辞書の持込み、学力検査問題へのルビ打ち、キーワードの外国語併記について、です。

これらの要件は、「1の学力検査時間の延長が認められた日本語指導が必要な帰国生徒等で、2、3、4を必要とする者」としております。

2 | 「配慮」の内容 配慮要項

1 学力検査時間の延長（約1.3倍）

要件

1 が認められた日本語指導が必要な帰国生徒等で、
2、3、4を必要とする者

2 辞書の持込み

内容

受験者が希望する**外国語の辞書**の持込みを2冊まで可能とする（例：日中辞典と中日辞典）。

3 学力検査問題へのルビ打ち

英和、和英辞典及び英語が記載されているものは英語の学力検査では使用できない。

4 キーワードの外国語併記

（注）国語を除いて申請することもできる。
国語の学力検査について「辞書持込み」の問題は「漢字の読み」及び「漢字の書取り」の問題が出題されない。

5 自己申告書の代筆又は日本語以外の使用

辞書は、出願時から**学力検査の前日**（土日を除く。）**正午**（定時制は**午後3時**）までに中学校長が志願先高等学校長に届け出る。中学校長が認めた場合は、教職員や志願者が持参しても差し支えない。

2の辞書の持込みについては、令和4年度選抜から受験者が希望する外国語の辞書の持込みを2冊まで可能としております。英和、和英辞典及び英語が記載されているものは英語の学力検査では使用できません。

この配慮の申請にあたっては、国語を除いて申請することもできるとしてあります。この場合、国語の学力検査について「辞書持込み」の問題は「漢字の読み」及び「漢字の書取り」の問題が出題されません。

辞書は、出願時から学力検査の前日正午まで、定時制の課程は午後3時までに中学校長が志願先高等学校長に届けることとしてあります。中学校長が認めた場合は、教職員や志願者が持参しても差し支えありません。

2 | 「配慮」の内容 配慮要項

1 学力検査時間の延長（約1.3倍）

要件

1 が認められた日本語指導が必要な帰国生徒等で、**2、3、4**を必要とする者

2 辞書の持込み

内容

各教科の学力検査において、**漢字にひらがなのルビを付した学力検査問題**を配付する。

3 学力検査問題へのルビ打ち

（注）国語を除いて申請することもできる。
国語の学力検査について「ルビ打ち」の問題は「漢字の読み」の問題が出題されない。

4 キーワードの外国語併記

5 自己申告書の代筆又は日本語以外の使用

24



3のルビ打ちについては、令和4年度選抜から各教科の学力検査において、すべての漢字にひらがなのルビを付した学力検査問題を配付するとしております。この配慮の申請にあっても、国語を除いて申請することもできますとしています。この場合、国語の学力検査について「ルビ打ち」の問題は「漢字の読み」の問題が出題されません。

2 | 「配慮」の内容 配慮要項

1 学力検査時間の延長（約1.3倍）

要件

1 が認められた日本語指導が必要な帰国生徒等で、
2、3、4を必要とする者

2 辞書の持込み

内容

国語において作文及び小論文形式の独立した問題が
出題された場合は、キーワードとなる語に受験者が
希望する外国語を併記する。

3 学力検査問題へのルビ打ち

4 キーワードの外国語併記

5 自己申告書の代筆又は日本語以外の使用

25



続いて、4 キーワードの外国語併記についてです。

これは国語において作文及び小論文形式の独立した問題が出題された場合は、
キーワードとなる語に受験者が希望する外国語を併記するというものです。申請
に希望する言語を記載いただきますが、少数言語については準備が困難な場合も
ございます。

2 | 「配慮」の内容 配慮要項

- 1 学力検査時間の延長（約1.3倍）
- 2 辞書の持込み
- 3 学力検査問題へのルビ打ち
- 4 キーワードの外国語併記

要件

原則として、外国において継続して2年以上在留し、帰国後2年以内の者で、自己申告書の代筆を必要とする者

内容

(1) 自己申告書の代筆

(2) 代筆が不可能な場合は、日本語以外で作成した自己申告書を出願前の定められた日までに、府教育委員会に提出する。その後、志願者は日本語に翻訳し厳封された自己申告書を受け取り、出願時に志願先高等学校へ厳封された状態で提出する。

5 自己申告書の代筆又は日本語以外の使用

26



続いて、5 自己申告書の代筆又は日本語以外の使用です。これは、要件が1～4とは異なる点にまずご注意ください。要件は、原則として、外国において継続して2年以上在留し、帰国後2年以内の者で、自己申告書の代筆を必要とする者としております。この配慮の内容は、(1)の自己申告書の代筆が主となります。代筆者として、中学校の教員、保護者、またはそれに準ずる者で行うことが可能です。(2)には、代筆が不可能な場合は、日本語以外で自己申告書を作成することについて記述していますが、これは、いわゆる「ダイレクト」、すなわち外国の現地校から直接公立高校を受験する志願者で、支援者もない場合を想定しています。

日本語指導が必要な帰国生徒等に係る入学者選抜の制度について

- 1 | 選抜の種類と配慮について
- 2 | 「配慮」の内容
- 3 | 出願にあたって**

27



続いて出願にあたって、もう1つお話しいたします。

3 | 出願にあたって 英語資格（外部検定）の活用

学力検査の得点

+

調査書の評定

=

総合点

国語
数学
英語（リスニングを含む。）
理科
社会

28



高校入試の合否判定は、当日のテストの点数と調査書の評定、つまり内申点の合計で計算された総合点を基に判定します。
このとき、この英語の点数は、英語検定などの外部検定のスコアを持っている生徒については、読み替えを行うことができます。

3 | 出願にあたって 英語資格（外部検定）の活用

英語資格のスコア等に応じた最低保障する点数と当日受験した英語の学力検査の点数を比較し、高い方の点数を当該受験者の英語の学力検査の成績とする。

TOEFL iBT	IELTS	実用英語 技能検定	読み替え率	最低保障する点数	
				特別選抜等	一般選抜
60点～120点	6.0～9.0	準1級・1級	100%	45	90
50点～59点	5.5	(対応無し)	90%	41	81
40点～49点	5.0	2級	80%	36	72

29



これは、受験者が取得している英語資格のスコア等に応じた最低保障する点数と当日受験した英語の学力検査の点数を比較し、高い方の点数を当該受験者の英語の学力検査の成績とします。

読み替え率や点数等については、中ほどの表をご覧ください。また、これは出願するときに申請が必要となります。

ありがとうございました

30



以上、日本語指導が必要な生徒に関わる入試の制度について説明をいたしました。
ありがとうございました。